

保育おおさか

平成20年12月1日 第400号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

情報発信により部会活動の 一層の充実・発展を

保育部会長 永野 治 男

創刊が昭和50年、今回400号を数え、まず初代編集委員長・故小宮重之先生をはじめ編集に携わった多くの先生のご努力に感謝申し上げます。

私も一時期、現・老人施設部会長の三上了道先生とともに編集に携わり、記事が少なく頭を悩ますこともしばしばでした。

その中の思い出は、連載シリーズの1つでもあった『ことわざ保育むだ話』。昭和60年、キタのガード下の飲み屋で北畑英樹先生を口説き執筆の確約をいただきました。

創刊当時の保育情報は二水会(施設長研修)や地元の園長会で得るしかなかった時代。月刊の「保育おおさか」は大変貴重な情報源でした。その後、FAXの出現、今ではネット検索で園にいな

ながらにして種々の情報が手に入る時代となりました。会員数が創刊当時の3

倍近く増えていることから、数ヶ月前より『保育園をたずねて』の掲載園も4ヶ園に増やし多くの園の状況をお知らせしています。保育おおさかからの情報発信により、部

役立つ 情報を 発信して 400号

会活動のより一層の発展を願っております。

見出しのつけ方など
指導仰ぐ

二代目編集委員長

門谷 明 (陽気保育園)

健康上の理由で退任された小宮重之先生を引き

継ぎ、平成8年から13年度末まで委員長を務めさせていただきました。

思い出すのは、編集委員会でご指導を仰いだ尾崎直敏先生。毎日新聞大阪本社で「鬼のデスク」といわれた方です。

当時の井上光事務局長からの依頼で、昭和62年から平成17年まで「保育おおさか」「ほほえみ」などの編集に携わって

正確さ・公平さを心がけ

三代目編集委員長

水崎 勝 (寝屋川市 ながよし保育園)

数年前の8月「保育おおさか編集委員会」に、当時委員長の門谷さんと出席し「次回の委員会から委員長を務める水崎さん」と紹介いただいたのが、この仕事を引き受けた始まりとなりました。加えて「福祉おおさか」の年3回の編集委員会や当時は「施設通信」も独立して毎月発行していたので、こちらの編集委員会にも出席しました。

記事の正確性と公平さ、会員が興味をもち、かつ保育事業に役立つ新しい情報をとメンバー一致して心がけました。その通りになったか自信はありませんが、歴史ある「保育おおさか」の編集にかかわらせていただいたことに感謝し嬉しく思っています。



「食育」という言葉が使われたことが、ここにかけて食の安全、生命をも脅かす事態が頻繁に起きています。

今年は「きくらげ」「餃子」「食用米」「冷凍インゲン」「カップ麺」「ハム」と表面化したものだけでも数種類にのぼる。ほかにもまだあるかもしれない、園児に提供する昼食、おやつなど保育園にとって頭の痛い問題です。

一方、世間では「メタバ」という言葉が常用語となり、さまざまなダイエット食が話題を呼んでいます。「ゆで卵」「納豆」「バナナ」などその都度、スーパーの店頭から商品が売り切れる。必要以上のカロリー摂取が「メタバ」を生み、あげくはダイエットを繰り返す。

飽食の時代がもたらした「負の遺産」は、輸入に頼り、自給率の低下も課題になっている。次世代に同じことを繰り返さないための「食育」に今こそ真剣に取り組まねばと思っています。

(編集委員 S・S)



社会福祉・保育おおさかのあゆみ

楽しく読める紙面作りへ
新たな一歩

四代目編集委員長
宮武 勲(大野台保育園)

「保育おおさか」40
0号発刊に編集委員長と
して携わる機会を得、感
慨深いものを感じながら、
33年の永きにわたり尽力

されてこられた歴代委員
長、編集委員、事務局の
皆様に敬意を表したいと
思います。

毎月の編集委員会では
内容の充実を図るため委
員が意見交換をし、各号
の企画・立案を進めてい
ます。

記事として休日保育、食
育などをシリーズで連載。
本年10月号では保育部会
長の提案により「旬」と
題した記事を増やすなど、
楽しく読めるよう刷新を
図りました。

厚生労働大臣に対し、保育三団体が要望

保育三団体(全国保育協議会、日本保育協会、全
国私立保育園連盟)は11月17日、保育制度改革
について、舛添要一厚生労働大臣宛の要望をまとめ、
厚労省雇用均等・児童家庭局、村本厚子局長に提出
しました。要望書の内容は以下の通り。

厚生労働大臣 舛添要一殿

保育三団体要望書

現在、厚生労働省では社会保障審議会・少子化対策特別部会を中心として保
育制度改革について、年末までにとりまとめるよう進められているところであ
ります。

- 1 現状の保育制度は、子どもの発達を保障するために、保護者・国・地方自
治体・保育所にとって欠かせないものであります。市場原理に基づく直接契
約・直接補助の導入は保育の質の低下に繋がります。現在の保育制度の果た
している役割を評価した上での制度の改訂を要望します。
- 2 国の保育の最低保障である最低基準については、引き下げや地方自治体へ
の移管が行われないよう要望します。
- 3 多様な主体の参入にあたっては、保育事業の継続や質の確保のため、企業
等への施設整備補助や機器的な無制限な補助が行われないように要望し
ます。

平成20年11月17日

社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育協議会

社会福祉法人日本保育協会

社団法人全国私立保育園連盟



- 昭和50(1975)年
「保育おおさか」創刊(8月)
「保育園をたずねて」スタート
「調査研究委員会」発足
第1回 保育誌画展開催
「保育会だより」創刊
「育児に悩む女性の意識調査」を実施
「てんわ育児相談」開始
「保育おおさか」100号
「保育所制度危機を避けるための緊急委員会」を開催
「保育所補助金削減率削減に反対し初めて
「保育おおさか」(号外)を発行
「こどもと保育」をスタート
大阪府保母会30周年
「てんわ育児相談」事業発展の解消
「花の万博」でハワイ州の保育園児とともに24
00人の子どものパレード開催
「育児相談員養成研修・初級研修」開始
「保育おおさか」200号
「国連平和維持活動(PKO)」協力法施行
「育児相談員養成研修・現任研修」開始
サッカークラブ「Jリーグ」開始
北海道南西沖地震発生。奥尻島中心に被害
「調査研究委員会」発足15年
日本が「子どもの権利条約」を批准
エンゼルプラン策定
緊急保育対策5カ年事業策定
オウム真理教による「サリン」事件
保育海外研修新研修地としてオーストラリアへ
阪神・淡路大震災。施設種別を超え被災者の救援
活動を行う
「育児相談員養成研修・初任者研修」開始
「創作・保育こころ」連載スタート
堺市の小学校で「O157」による食中毒発生
ヘルピー日本大使館公邸人質占拠事件
第40回全国保育研究大会(大阪)開催
消費税の税率が5%にアップ
香港が15年ぶり中国返還
児童福祉法改正(措置制度から利用選択方式に・
コストに応じた「保育料」)
「ふれ愛びつく大阪」開会式に園児1600人が
出演

- 平成元(1989)年
2(1990)年
3(1991)年
4(1992)年
5(1993)年
6(1994)年
7(1995)年
8(1996)年
9(1997)年
10(1998)年
11(1999)年
12(2000)年
13(2001)年
14(2002)年
15(2003)年
- 世界最長の吊り橋・明石海峡大橋開通
和歌山毒物カレシ事件
保育所における調理業務の委託が認められる
「育児相談員養成研修」初級研修を第一期研修に
「現任研修」を第二期研修に変更
山口県光市母子殺害事件
東海村核燃料施設設置騒音事故発生(日本初の核施設
での事故)
児童福祉施設最低基準の一部改正
「育児相談員認定証の交付スタート(平成10年度)
「保育」から「保育士」へ名称変わる
「大阪府保母会」が「大阪府保育士会」として新
たに発足
「やさしい児童精神医学入門」連載スタート
社会福祉基礎構造改革
介護保険制度スタート
新エンゼルプラン策定
保育所の設置認可について(企業、NPO、個人
の認可運営が可能に)
児童福祉施設最低基準等の一部を改正する省令
(5歳児付添いの設置義務化)
「保育おおさか」300号
ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園
大阪教育大学付属池田小学校児童殺傷事件
アメリカ同時多発テロ発生
待機児童解消に向けた児童福祉施設最低基準に係
る留意事項等について(入所定員の弾力化の枠を
縮減)
保育海外研修新研修地としてアメリカへ
近畿ブロック保育研究集会(大阪)開催
北朝鮮拉致被害者帰国
新型肺炎「SARS」を新感染症に認定
イラク戦争

- 20(2008)年
- 住民基本台帳ネットワーク本格稼働
保育士国家資格化
「落語匠の保育うた」連載スタート
山口県で鳥インフルエンザ感染の鶏が見つかる
スマトラ島沖地震発生
「三位一体」改革を推進する保育緊急委員会」開催
愛知県で「愛・地球博」
個人情報保護法施行
「福知山脱線事故発生
制震強度低減問題
特定情報保護「ルール」よい子ネット」スタート
「保育のまち」連載スタート
北海道夕張市が財政再建団体に
スマトラ島沖地震
「地域貢献事業準備委員会」発足
「保育おおさか」250号
北海道河津湖サミット開催
アメリカのサブプライムローン発端に米大手証
券会社が破綻、金融危機激化
保育海外研修新研修地としてオーストラリアへ
大阪府財政再建「プログラム」試案」に対する要望
活動
「地域貢献事業準備委員会」から「地域貢献事業
推進委員会」へ名称変更
「育児相談員」400号
「保育おおさか」400号

※及びは保育部会及び「保育おおさか」関係。平成3年以前の一環
事項は省略

茨木市 たんぽぽ中条保育園

食育効果上げる異年齢混合グループ遊びや行事に「たんぽぽ」スタイル

たんぽぽ中条保育園は、平成19年4月に茨木市の公立保育所民営化第1号として開設。法人としては3つ目の保育園で定員は150人です。

0・1歳児は2階、2

5歳児は1階の保育室で生活、年齢に応じた遊びや運動、造形やリトミック、音楽などを楽しみながら取り組まれています。公立保育所の保育内容を引き継ぎながら、独自の「たんぽぽ」スタイルも取り入れ日々の保育と行事に力を注がれているようです。



人文字でたんぽぽ

園内に畑を作り、季節に感じさまざまな植物を育てられています。春はチューリップが色とりどりに咲き、夏にはプチトマトやピーマン、ゴーヤやスイカなどを収穫。全てのクラスが毎日水やりし、その成長を見守ります。もちろん子どもたちの手で収穫、給食室で調理してもらいますが、ふだなじみのない野菜や苦手な野菜でも美味しく感じられ、「こんな味なんだ」と新たな発見があるようです。

「きょうだいグループ」という異年齢混合グループがあり、そのグループで給食を食べる保育では、5歳児が小さなクラスの子どもに食器の置き方や食べ方を教えたり、異年齢で会話を楽しんだりする時間を大切にされています。そのような時間には食べ物や食事をすることの大切さ、野菜や米などを作っている人への感謝



(編集委員 M・K)

の気持ちも育つてくれることを願う「食育」を実践されています。その他いろいろな活動に深い思いや願いを持って取り組まれているのが印象に残りました。

「たんぽぽ」のように元気な子どもたちの笑顔が絶えない保育園です。



保育園を

たずねて

370



あやめ保育園は寝屋川市では最初の公立民営化保育園です。平成18年の設立ですが、公営時代を含めると約40年、法人としても38年の長い歴史があり、定員150名です。

「人を愛する優しい心」「動植物を愛する心」「芸術的感性を養い、国際人格の基礎づくりを目指す」の保育

理念を掲げ、新発足後2年半ながら、独自の理念を進めながら新たな環境へ適応されつつあります。民営化園としてスタート以来1年2ヶ月は従来の所在地でしたが、その後、近くの土地に移られ園舎を新築。新たな気持ちで理念を推進するには好条件だったと思われる。新園舎・園庭には理念の一つひとつが色濃く反映されています。

業務引き継ぎと新園舎建設では「苦労があった」と思われますが、「さっぱり」とお話しされたのが印象的で、過去の苦労より未来への強い信念・意志が感じられました。

保育は東大阪のエンゼル保育園のスタイルを導入されましたが、新園舎・園庭の活用では広くなつた分、これまでできなかったことが実現されつつあるようです。



園舎を新築

(編集委員 J・H)

まだまだ発展途上、理念の実現に休みはないとのことですが、柔らかなのどかな園生活で、大切な子どもたちがのびのびと安心できる、心地よい場所になるよう日々、取り組まれています。

寝屋川市 あやめ保育園

新園舎で独自の保育理念を推進障子のある保育室やレイアウトに工夫

理念を掲げ、新発足後2年半ながら、独自の理念を進めながら新たな環境へ適応されつつあります。民営化園としてスタート

す。中庭に面した障子のある保育室の導入やクラスごとに特徴を持った保育室のレイアウト、多様な植樹、サツマイモ畑など結果として保育理念によくマッチしたものになりました。

八尾市 ゆう安中東保育園

「ゆう」に勇・優・友・遊の願いをこめて
保護者やシニアボランティアと活発に交流



駐車場を整備

ゆう安中東保育園はJR大和路線八尾駅から歩いて15分。八尾市で初めての民営化園として平成18年4月、定員135名でスタートし3年目を迎えました。昨年は駐車場整備も完了し機能向上を果たされています。

地域の子育て拠点として歩んだ30年の歴史と卒園児、地域の思いを大切にしたいという理事長さんの思いから、園名は旧名の「安中東」を残し、平仮名の「ゆう」の2文字を冠に！

「ゆう」の意味は勇気、開園当初からの保護者会はPTA組織と改編され、保護者と職員が子育ての良きパートナーとして保育活動やPTA主催の講習会、研修会などに取り組まれる一方、敷地内の「ゆう菜園」を活用、シニアボランティアさんと園児が野菜の種蒔きから収穫、食事会と四季を

の「ゆう」、優しさの「ゆう」、友達「ゆう」、遊びの「ゆう」とさまざまな思いが込められている。「現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」が合言葉だそうです。

近隣に公園が2ヶ所と小学校のほか、障がい者福祉センター、青少年会館、人権コミュニティセンター、保育所、老人センター、老人保健施設、診療所、中学校などがある保育環境で、これら関係施設が毎月連絡会議を開き、連携・交流活動も活発です。

(編集委員 S・S)



保育園を

たずねて

371



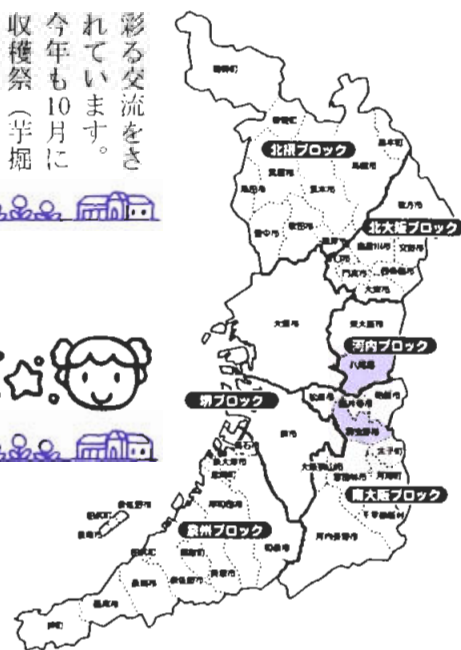
近鉄南大阪線高鷺駅からすぐ近くにベビーハウス社協(定員90名)があります。特筆すべきは24時間、年中無休(正月を除く)の一時保育で、仕事・病気・出産・冠婚葬祭・介護などで保育ができなくなつた時、誰でも利用可能な保育体制をとられていることです。

在園児クラス0〜5歳の6クラス。時保育の「きしやぼつぼぐみ」、そして地域の親子を担当するクラス「地域」があります。「地域」では同じ職員が年間を通して地域の親子に関わっています。子どもたちも先生の名前を覚え、お母さんにとっても相談しやすい雰囲気づくりができています。時には家庭訪問し「地域担任」と一緒に子育てをされることもあるそうです。



積極的に地域交流

(編集委員 N・M)



羽曳野市 ベビーハウス社協

「地域担任」もいる子育て中心拠点
「21」な24時間一時保育も

全ての子どもが主役のお祭り。手間を惜しまず保育士の手作りで盛りだくさんのゲームを用意され毎年好評です。

平成14年に開園以来7年目。設立時に0歳であった子どもたちを今春、卒園させることができ感慨無量だったようです。これからも地域すべての子育て中心拠点として子どもたちを見守っていききたいと力をこめられています。



全体会・広島国際会議場にて

初日は開会式典の後、保育行政を取り巻く状況について、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課の今里譲課長が行政説明されました。

今里氏は少子化の現状

今里 譲氏

待機児童ゼロへサービスの受け皿確保

行政説明

「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現を目ざして」をテーマに、第52回全国保育研究大会が10月30日（木）―11月1日（土）の3日間、広島市の広島国際会議場をメイン会場に、全国から約2000人の保育関係者が参加し開催されました。初日は行政説明と基調報告、2日目は分科会で研究発表、3日目は記念講演がそれぞれ行われました。

と保育所の待機児童が5年ぶりに増加した（平成20年4月1日現在）実態に触れ、「就労」と「結婚・出産・子育て」の二

第52回全国保育研究大会

多様で弾力的な

保育サービスの構築を

基調報告

者択一構造を変え、働く希望を持てる社会を築くためには多様で弾力的な保育サービスの構築が必要であると述べられました。

小川益丸 会長

また、「新待機児童ゼロ作戦」の具体的施策として、希望するすべての人が子どもを預けて働くことができるサービスの受け皿を確保し待機児童をゼロにする。特に今後

基調報告では全国保育協議会・小川益丸会長が保育をめぐる情勢変化のほか、全国保育協議会の取り組みの中で、少子化

「行政とともに子育てこそ安心感生まれる」

の導入（市場化）に反対している状況を説明され、行政関与のもと、行政とともに子育てをすることで安心感が生まれると述べられました。

さらに「保育の質を保ちながら需要を拡大していかねばならない」と指摘、国や自治体は保育政策に充てる財源を増やすべきだと強調されました。



第12分科会で森田副部長が発表

2日目の第12分科会（テーマ「地方の時代の保育所運営と組織活動を考える」）では、保育部会・森田副部長が大阪府政、橋下徹知事の政策、保育部会の取り組みなどについて発表。

（編集委員M・K）



第5分科会

記念講演

父の分まで子と関わった保育士の母の思い出

世良公則氏

最終日はアーティストの世良公則氏が「詩に想いをのせて」と題し記念講演。1977年、22歳でデビュー以来、「アーティスト」と呼ばれるた

気持ち切実に伝わりました。また、保育士の信条や信念は園児の人生に影響を与えるため、子どもの目線で見つめながら向き合わなければならないと述べられ、保育関係者にとつて大変意味深い講演となりました。

歩んだ道に“光” おめでとうございます

秋の叙勲(瑞宝単光章)

毎日子どもたちと遊び、保護者、地域住民の方とのふれあいを永年、私の生活の一部としてきたことに對しての功労と感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

根来 寛氏

(福根来学園
ワンワン保育園理事長)



乾 信子氏

(大東みのり保育園
主任保育士)



各種表彰受賞者

(順不同・敬称略)

厚生労働大臣表彰 1名

森田晃子(若竹保育園)

全国社会福祉協議会

会長表彰(功労) 7名

三角智昭(たんぼ安威保育園)

長村昌一(第二光の峰保育園)

東口房正(ふじが丘保育園)

出水世貴子(母木保育園)

松井加陽子(松の木保育園)

嶋田照美(取石南保育園)

三村貞子(天神山保育園)

全国社会福祉協議会

会長表彰(永年勤続) 32名

垣本洋子(旭ヶ丘学園)

小山千郁(鶴原ビッコ保育園)

宮内保美(千聖愛育センター)

須田隆子(とりかい保育園)

山下博子(法泉寺保育園)

有長千恵子(南総持寺保育園)

川口佳子(アカシヤ保育園)

近藤陽子(交野保育所)

金田光江(香里敬愛保育所)

角谷洋子(津田保育園)

日置千賀子(茄子作保育所)

岩上匡志(種之上保育園)

岡本喜代志(氷野保育園)

吉村清美(本町保育園)

西岡成典(恵果保育園)

橋本夏代子(さわらび保育園)

湯澤加代美(さわらび保育園)

大島律子(春宮保育所)

吉岡輝子(やまゆり保育園)

吉岡直樹(やまゆり保育園)

阿瀬 修(旭丘まぶね保育園)

辻 映子(泉佐野すくも保育園)

川崎利衣子(貝塚中央保育園)

西澤凡子(金光寺保育園)

土居純子(都島乳児保育センター)

村野とし子(都島友愛保育園)

全国保育協議会

会長表彰 11名

須田隆子(とりかい保育園)

吉田公恵(あやめ保育園)

橋本夏代子(さわらび保育園)

水本愛子(陽気保育園)

大仲美智子(登美丘西保育園)

澤 かおる(すいせん保育園)

長村昌一(第二光の峰保育園)

小林章次(中百舌鳥保育園)

篠原涼枝(清和保育園)

近藤陽子(交野保育所)

白井恵美(都島乳児保育センター)

師走に入り、霜が降りると根菜類が一段と美味しくなります。

園児たちの食育もかね大根を使って漬物作りに挑戦させましょう。

①2〜3ミリにスライスした大根を包丁で3ミリ程度に切り、塩をパラパラとふるとすぐに「しんなり」となります。薬の部分には別に細かく刻み、これも塩を少し多めにし

青い汁が出るまでよく揉みます。汁を捨てさらに揉み込み青い汁が出なくなるまで(そうしないとうまい仕上がりになる)。

②牛スジ大根牛スジは脂抜きがコツ！

30分ボイルし、食べやすい大きさに切り、さらに30分煮るとほぼ脂が抜け

「旬」

霜が降り根菜類の美味一段と
食育かね大根の
漬物作りに挑戦を！

の項に。球根類の植え忘れはありますか？春にはきれいな花を。球根の

る。大事なことはそのゆで汁を捨てないこと。美味しい牛のコーゲンたっぷりの旨みの元。冷まして冷蔵庫に。脂が固まってい

るので、それは捨て後は適宜に。私は冬には大鍋で炊くのが大好きだ。旨いですよ！

続いて園芸の項に。球根類の植え忘れはありますか？春にはきれいな花を。球根の

の項に。球根類の植え忘れはありますか？春にはきれいな花を。球根の

※受賞者数は掲載辞退の方も含めた人数です。



発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部 会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男
永野 治
宮 武 勲